

融点が約-70℃にあるカネカ潜熱蓄熱材 PATTHERMO[®] CV-70の開発に成功し、シリカ粉体系真空断熱材と発泡ポリスチレンを組み合わせた断熱容器に配置することで、ドライアイスを用いることなく-60℃以下を一定時間保持する結果を取得した新たなTACPack[®] Premiumシリーズをラインアップ致しました。



【主な特徴】

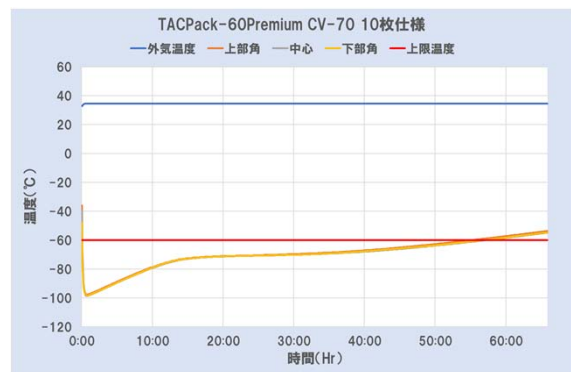
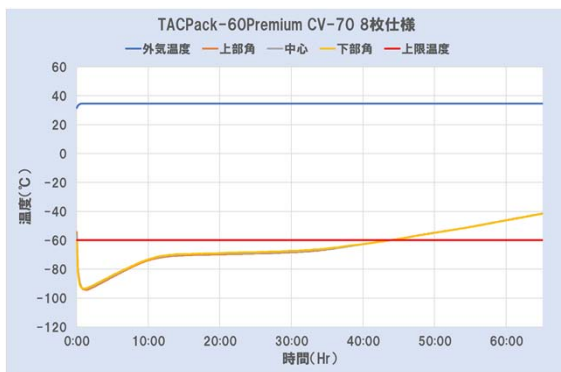
- ドライアイスを使用せず、一定時間-60℃以下を定温保持する結果を取得したパッケージです。
- 専用の製品収納用内箱構造により、蓄熱材と収納する製品が直接触れることがない仕様であり、GDPガイドラインに適合した製品です。
- セキュリティーロックができるよう封緘付きです。
- 宅配便発送可能サイズで、荷室内容積を約14L~18L確保しました。
- 各製品において「Qualification Report」を整備しております。

パッケージ概要

管理温度	外寸 (mm)	蓄熱材 (枚)	荷室 (mm)	重量 (kg)
-60℃以下	約505×505×H473	8	約293×293×H205	約25
		10	約293×293×H160	約30

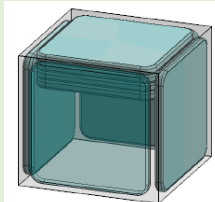
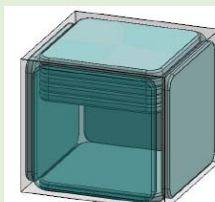
温度測定試験結果 (n=3試験での最短保持時間を表記しています。)

温度試験条件	蓄熱材 (枚)	無負荷
35℃一定	8	約43時間
	10	約55時間



荷室内温度が各測定位置でほぼ同温度で推移する場合、上記グラフの各測定位置の温度推移が重なって見えます。

カネカ潜熱蓄熱材 PATTHERMO®事前調温方法

試験条件	蓄熱材数量	蓄熱材事前調温	蓄熱材配置 (水色:凝固 紫色:融解)
35℃一定	8枚	【全凝固】 PATTHERMO®CV-70を -120℃で48時間以上放置し 凝固させ使用する。	 凝固：天面4枚、側面各1枚
	10枚	<蓄熱材の調温ならびに梱包する際は、凍傷の危険性があるため、必ず保護手袋を着用して下さい。>	 凝固：天面5枚、底面1枚、側面各1枚

本カタログ内の各種数値・グラフは、社内試験結果であり実際の使用環境とは異なるため、本製品の温度保持機能や使用中の環境温度を保証するものではありません。

2021.12.8